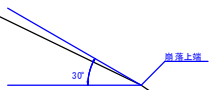


即増設枠寸 3000×2000
 1:20.9m2
 8.8区画
 1:11.0

(R8) 現年・明許 単県公共

地区名	西分地区
西分地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	平面図 (其の)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	S=1:500 単位 M
図号	全 6 葉中の内 1
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

世界測地系 (A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

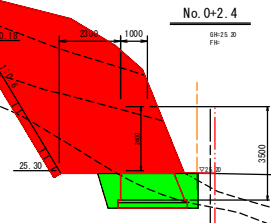


D-2.40

AFL: 火山灰質粘性土
 WGr: 風化土 (DL~DL級) 真砂
 GR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH級)
 Gr: 軟岩・花崗岩類 (DH~CL級)

No. 0+2.4

GR-25.20
 FH



P.FL: 礫混じり粘土 (軽石層)
 GR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH級)

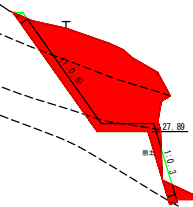
DL=20.00

ANO. 0+2.4	
片切掘削(土砂)	23.4
片切掘削(軟岩)	14.9
床掘(土砂)	0.1
床掘(軟岩)	4.6
埋戻	1.5

AFL: 火山灰質粘性土
 WGr: 風化土 (DL~DL級) 真砂
 GR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH級)
 Gr: 軟岩・花崗岩類 (DH~CL級)

ANO. 0

GR-25.20
 FH



P.FL: 礫混じり粘土 (軽石層)
 GR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH級)

DL=20.00

ANO. 0	
片切掘削(土砂)	11.6
片切掘削(軟岩)	1.7
床掘(土砂)	—
床掘(軟岩)	—
埋戻	—

(R8) 現年・明許 単県公共

A路線 ANO. 0~ANO. 0+2.4	
地区名	西分地区
急傾斜地崩壊対策工事	
図名	横断面図 (其の 1/3)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	S=1:100 単位 M.MM
図号	全 6 葉中の内 2
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

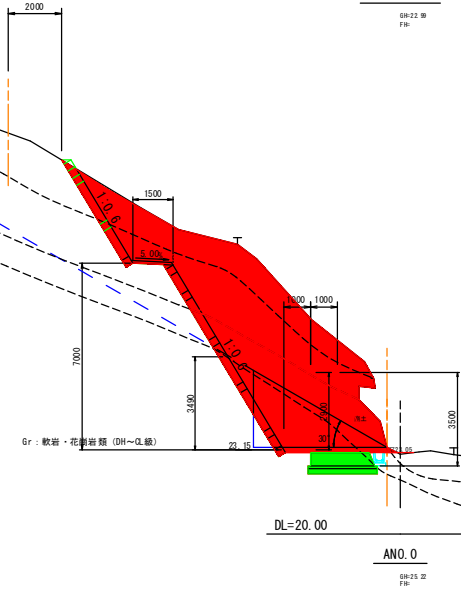
D-7.600

ANO. 0+10.00

GR-22 Ⅱ
FR

AFL: 火山灰質粘性土
 WQ: 真砂土 (DL~DL線) 真砂
 WR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH線)

Gr: 軟岩・花崗岩類 (DH~DL線)



ANO. 0+10.00

片切量(土砂)	24.9
片切量(軟土)	16.2
床 掘(土砂)	-
床 掘(軟土)	2.8
埋 戻	0.6

Gr: 軟岩・花崗岩類 (DH~DL線)

DL=20.00

ANO. 0

GR-23 Ⅱ
FR

PFL: 硬凝じり粘土 (軽石層)

PFL: 硬凝じり粘土 (軽石層)

WR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH線)

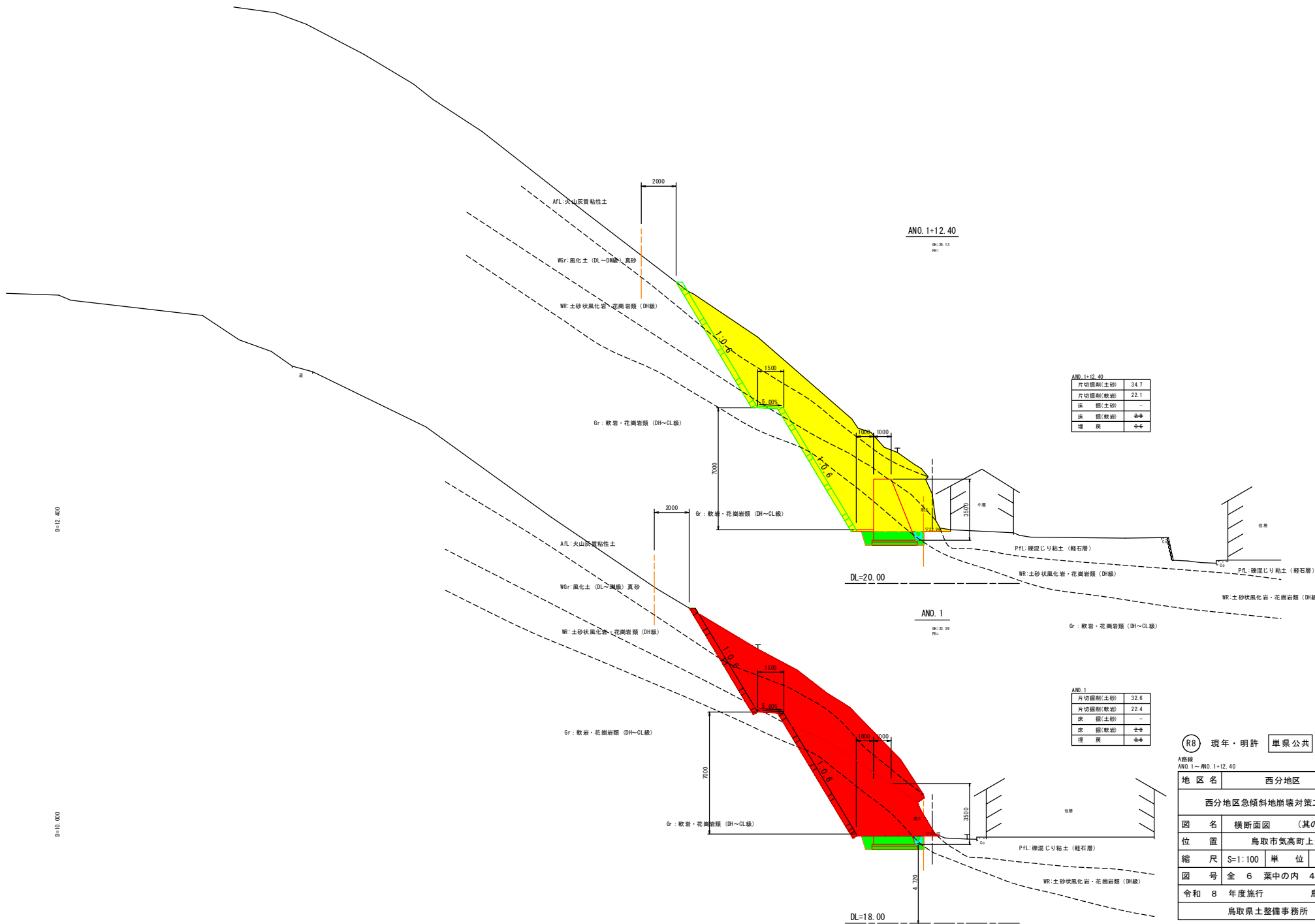
WR: 土砂状風化岩・花崗岩類 (DH線)

Gr: 軟岩・花崗岩類 (DH~DL線)

R8 現年・明許 単県公共

A路線
ANO. 0+10.00

地区名	西分地区
急傾斜地崩壊対策工事	
図名	横断面図 (其の 2/3)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 6 葉中の内 3
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	



ANO. 1=12.40
 0H=5.13
 0H=

ANO. 1=12.40	
片切掘削(土砂)	34.7
片切掘削(軟岩)	22.1
床掘(土砂)	-
床掘(軟岩)	±0
埋戻	±0

ANO. 1
 0H=2.39
 0H=

ANO. 1	
片切掘削(土砂)	32.6
片切掘削(軟岩)	22.4
床掘(土砂)	-
床掘(軟岩)	±0
埋戻	±0

RR 現年・明許 単県公共

A路線 ANO. 1~ANO. 1+12.40	
地区名	西分地区
西分地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	横断面図 (其の 3/3)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 6 葉中の内 4
令和	8 年度施行 鳥取県
鳥取県土整備事務所	

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

D=12.40

D=10.00

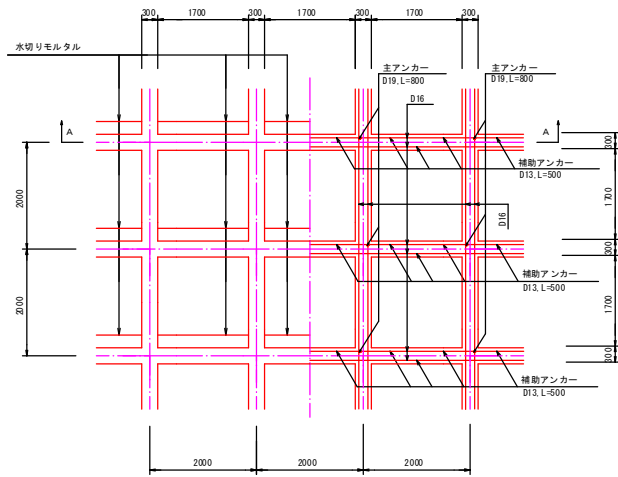
DL=18.00

DL=20.00

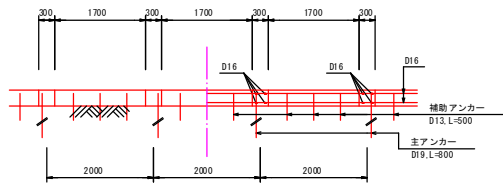
吹付枠工詳細図 (1)

(F300-2000×2000)

標準展開図
S=1:50



A-A断面



〈施工上の注意事項〉

○ 吹付枠の施工について

- ・鉄筋は異形鉄筋 (SD345) を使用し、継手位置が枠の支点にこないようにするとともに重ね合わせは上下方向とし、鉄筋のかぶり・間隔などは設計図面に従って配筋する。
- ・吹付モルタルの強度は土木学会規準 (吹付コンクリートの強度試験供試体の作り方) に準じて現場で作成した供試体を JIS A 1107 によって試験した場合に材令 28 日で 18 N/mm² 以上の強度とする。
- ・吹付けには、吹付時に配合の変化しない方式を使用する。
- ・吹付けの施工は、型枠断面より幅増に大きくならないように施工する。
- ・吹付施工は、法面下部から施工する事がよい、やむをえず、法面上部から施工する場合は、はね返りなどを十分に排除しながら施工する。
- ・鉄筋の交差した箇所では、鉄筋の下に空洞を生じないように入念に施工する。
- ・吹付け継手は、できる限り縦枠の施工中につくらないようにし、打ち継ぐ場合はチップング・水洗いを行う。
- ・既設のラス金網は、養生撤去後に損傷等がないか確認し、問題なければそのまま利用する。

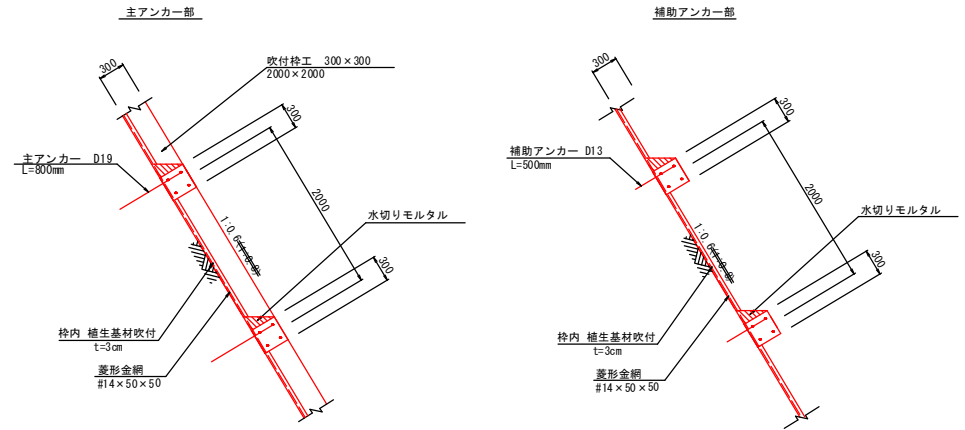
○ 枠内養生について

- ・枠内養生は、養生基材吹付工とする。また、吹付厚さの設計値は以下の通りとする。

t=3cm

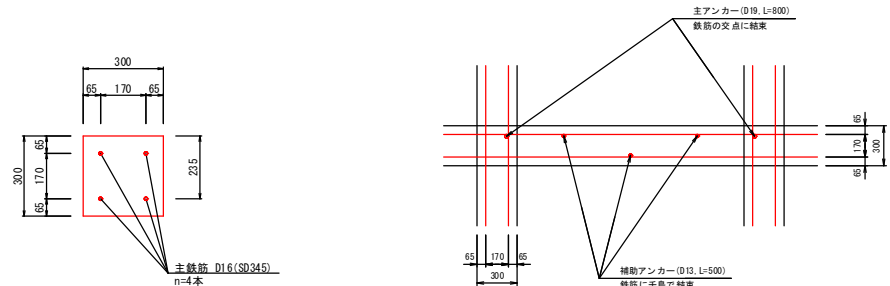
- ・ただし、この値はあくまでも設計値であるため、法面整形後の岩質状況・土壌硬度および pH (酸度) を測定し、監督員と協議の上、最適吹付厚さを決定する。

標準断面図
S=1:30

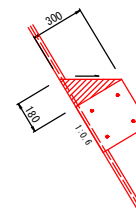


アンカー配置図
S=1:20

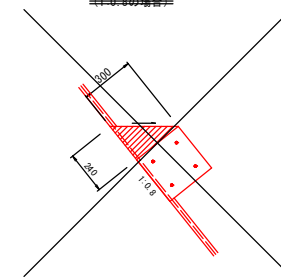
鉄筋配筋図
S=1:10



水切りモルタル詳細図
S=1:15
(1:0.6の場合)



水切りモルタル詳細図
S=1:15
(1:0.8の場合)

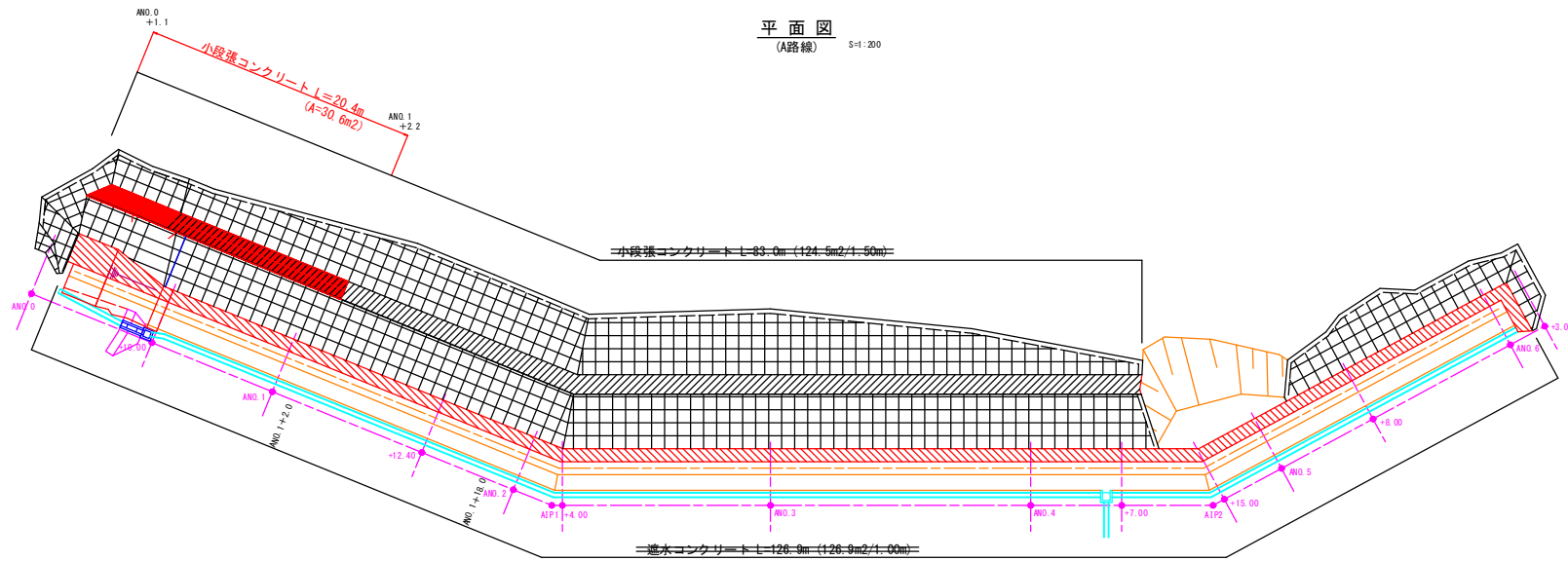


Ⓡ8 現年・明許 単票公共

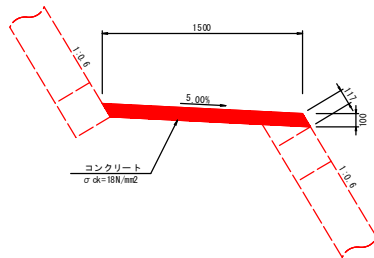
地区名	西分地区
西分地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	吹付枠工詳細図 (1)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	図示
単位	MM
図号	全 6 葉中の内 5
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)

張コンクリート工展開図 (1)



小段張コンクリート
S=1:20



数量表 10.0m当たり

名称	規格	計算式	数量
コンクリート	σok=18N/m²	1.50 × 0.10 × 10.0	1.500 m³
型枠	均し	0.117 × 10.0	1.170 m²
目地材	t=10mm	1.50 × 0.10	0.150 m²

(R8) 現年・明許 単県公共

A路線	
地区名	西分地区
西分地区急傾斜地崩壊対策工事	
図名	張コンクリート工展開図 (1)
位置	鳥取市気高町上光
縮尺	図示 単位 M.MM
図号	全 6 葉中の内 6
令和 8 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

(A3印刷の場合、縮尺は表示の1/2)